

# 日中協働による サプライチェーンのグリーン化をめざして

～中国環境NGOネットワーク“Green Choice Alliance(GCA)活動報告～

中国の経済成長の影には、環境対策が万全でないことに伴う汚染被害が付きまといまいます。汚染の原因者には、日系企業が関わっているものもあり、サプライ・チェーンを把握しきれないことによって、意図せずに原因者になってしまうことも少なくありません。

そこで、サプライ・チェーンのグリーン化に取り組む、中国の環境NGOネットワーク“グリーン・チョイス・アライアンス(GCA)”メンバーから、中国における汚染の実態やNGOの取り組み、企業との協働事例などを報告いただき、日本と中国の市民と企業が、共に取り組むべき課題を探ります。ぜひご参加ください。

日時：2012年3月14日(水)14:00～17:00(受付13:30～)

場所：グリーンルーム(あおぞらビル3F会議室) / 参加費無料

大阪市西淀川区千舟1-1-1

(JR東西線御幣島駅11番出口より徒歩1分)

地図・アクセス：<http://aozora.or.jp/accesscontact>

## 【プログラム】

- 14:00 開会
- 14:10 講演「中国におけるGCAの活動と日本企業への期待」  
講師：馬軍氏(公衆環境研究センター：IPE代表)  
※中国からのインターネット中継による講演です  
内容)GCAの活動概要／企業との協働事例紹介  
／日本企業への期待など
- 15:30 報告「中国で広がるGCAネットワーク」  
・李力氏(GCA・NGOネットワーク担当)
- 16:00 意見交換
- 17:00 閉会



馬軍氏 (公衆と環境研究中心：IPE・北京)

李力氏 (環友科学技術研究中心・北京)



中国環境NGO「公衆と環境研究中心：IPE」の主任。IPEでは中国の汚染情報に関わるデータベース「中国水汚染地図」「中国大気汚染地図」を管理している。

「Green Choice」呼びかけ人であり、環境分野で活躍した中国人に贈られる06年グリーン・チャイナ・マン・オブ・ジ・イヤーを受賞。



2006年に民間の環境保護組織—環境友好公益協会を設立し、現在の環友科学技術研究中心となる。それ以外にも、東アジア環境情報共有ネットワークの中国側の責任者、国際海岸清潔作業所中国側コーディネーター、中国の十数の民間環境保護組織の顧問などを務めている。中国の20を超える地域、日本、韓国、アメリカ、ノルウェーなどの国において環境保護に関する研修・交流活動をし、また、環境教育、科学知識の普及と宣伝および環境劇場の指導に関する書籍を多数出版している。

## ◎Green Choice Alliance (GCA) とは？

GCAは、自然の友、公衆環境研究センター (IPE)、達爾問自然求知社、環友科学技術センター、南京緑石の5団体を中心とした中国の41の環境NGOによる緩やかなネットワーク運動。サプライチェーンにおける環境管理の促進を目指し、2008年に結成されました。

申込 氏名、電話番号、所属をあおぞら財団までお知らせください。当日参加可(定員30名)

主催/申込



〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1 あおぞらビル4階

TEL: 06-6475-8885 FAX: 06-6478-5885

URL <http://www.aozora.or.jp/> E-mail [webmaster@aozora.or.jp](mailto:webmaster@aozora.or.jp)

個人情報とは本事業の目的以外には使用しません

平成23年度大気汚染等経験情報発信事業の一環です